

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.253)

1. 令和7年度安全セミナーについて

豊田PCB処理事業所では、平成22年度に起こした漏洩事故等の反省を踏まえ、平成23年2月に「豊田事業所再生計画」を取りまとめました。

この再生計画の中で、JESCO及び運転会社の全社員を対象に、毎月安全セミナーを開催することをお約束しました。

今年度も引き続き、社員全員の安全意識をさらに向上させることを目的に開催していきます。



令和7年4月のセミナーの様子

4月に開催した第1回安全セミナーでは、事業所で使用している化学物質のリスクアセスメントとPCBを取り扱う際に注意すべき点を説明し、作業従事者の健康管理と安全衛生意識の向上を図りました。

令和5年度末で、受け入れたPCB廃棄物の処理が終了し、令和7年度からは設備の本格的な解体撤去工事が始まります。

今年度は、事業に関係する法律等を順守することの大切さ、解体撤去工事に向けた労働災害、漏洩トラブル及びヒューマンエラー等の防止にポイントを置きセミナーを開催していきます。

また、講師はJESCOや運転会社の社員が務めるほか、外部からも専門家などをお招きして、様々な角度から学べるように工夫していきます。

2. 東海地区広域協議会から感謝状をいただきました

3月26日に豊田市役所で、「PCB廃棄物処理に係る東海地区広域協議会(愛知、岐阜、三重、静岡の4県と8政令市等で構成)」の夏目会長から、東海地区エリアの高濃度PCB廃棄物処理への理解と協力に対して、豊田市と



右から夏目会長、石垣事業所長、中川豊田市環境部長

当事業所に感謝状が贈呈されました。

これは平成17年9月の操業開始から2度の処理期間延長に対する豊田市民と豊田市の御理解・御協力と、当事業所が足掛け20年にわたりPCB廃棄物を無事に処理したことを評価されたものです。

私たち事業所職員一同は、この感謝状をいただいたことにおごることなく、現在進めている施設の解体撤去工事を最後まで安全・確実に進めていきます。

3. 解体前洗浄槽ポンプストレーナからの洗浄液の漏洩について

設備の解体撤去に向けた液抜き作業を実施するため、事業所員が小型トランス解体エリア(遮蔽ブース内)に入室したところ、解体前洗浄槽ポンプストレーナ下のステンレス床上に液だまりを確認しました。漏れた液体は洗浄溶剤でPCB濃度分析結果は0.819mg/kgであり、低濃度PCB油であること、また周辺環境への影響がないことも確認しました。

ストレーナ清掃用手動弁のダイヤフラムが劣化していたため、弁の開閉操作後に内漏れを起こし、ストレーナに想定以上の圧力が掛かり上蓋と本体のシール部から漏洩したものです。

当該箇所は解体撤去に向けて、その後溶剤をすべて抜いたため、今後漏洩は発生しませんが、他の箇所でも同様の漏洩が発生しないよう、再発防止対策を徹底していきます。



4. 令和6年度環境モニタリング調査結果について

当事業所では、排出源と周辺環境の2種類の環境モニタリングを実施しています。排出源モニタリングでは、施設における排気、排水、騒音、振動、悪臭を測定しています。

令和7年1月のモニタリング結果

区分		場所	1月結果	管理目標値	単位
排気	PCB	建屋排出口 1	0.001未満	0.01以下	mg/m ³ N
		同 2	0.001未満		
		同 3	0.001未満		
	DXNs	建屋排出口 1	0.063	100以下	pg-TEQ/m ³ N
		同 2	0.00078		
		同 3	0.00024		
排水	PCB	放流口	0.0005未満	0.0005未満	mg/l
	DXNs		0.0068	5以下	pg-TEQ/l

このうち、排気、排水中のPCBとダイオキシン類(DXNs)については年4回測定しており、令和6年度のモニタリング結果は、豊田市との協定で約束している管理目標値未満の結果となっています。

なお、周辺環境モニタリングを含めた年度毎の結果等については、以下のリンク先のJESCOホームページで御確認いただけます。

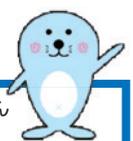
<https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/report.html>



デジ丸

問合せ先

アザラシのびーちゃん



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>